

# 令和2年度足立区総合教育会議 要旨

要旨は、議事録から抜粋してまとめた内容であるため、発言の趣旨などは、議事録の発言前後の内容をご確認ください。

## 【議題】

「学校教育におけるICTの活用」について

## 【概要】

- ・国のGIGAスクール構想により、各校40台程度のタブレット端末を令和3年度前半にかけて、児童・生徒一人ひとりの配備する準備を進めている。
- ・教育委員会から現在のICT機器状況を報告し、区内小・中学校長から現場の声を伺った後、新年度に向けてICT機器を活用した授業内容に関する先進事例を紹介した後、各教育委員から意見をいただいた。

## 1 足立区小中学校におけるICT機器活用に関する現状と今後の方向性について

### 【教育改革担当部長】

#### (1) ICT機器活用に関する課題

##### ア ICT機器の活用状況

- ・足立区では昨年10月から教員1人1台へのタブレット、教室への大型モニターやWi-Fiを設置し、教員がタブレットに慣れる環境づくりを進めてきた。
- ・教員が「週に1回以上活用する教員が80%」を目標としていた。
- ・小学校教員は、約89%が活用し、69校中63校が目標値を上回った。
- ・中学校教員は、約63%が活用し、35校中8校が目標値を上回わり、27校が目標値に届かなかった。

##### イ ICT機器を活用しない要因

- ・教員の授業準備の負担感や操作ミスへの不安感が活用頻度に影響していた。
- ・小学校教員の約20%、中学校教員の約50%が、負担が増えると感じていた。
- ・小・中学校教員の約50%が、ICT機器の操作ミスが起きる不安があった。

##### ウ ICT機器の効果を感じているか

- ・小学校教員の約80%、中学校教員の約50%がICTにより授業準備の効率化ができると実感した。
- ・小学校教員の約90%、中学校教員の約60%がデジタル教科書により、分かりやすい授業ができると実感した。

#### (2) 課題への対応

- ・教員の状況、不安感や負担感、スキル・レベルに合わせて各種取組みを推進する。
- ・ICT活用の好事例の共有、授業を録画してオンデマンドでの配信、デジタル教科書の活用研修、プログラミング教育研修、ICT支援員の学校訪問、管理職向けマネジメント研修を実施する。

### (3) 今後の方向性

- ・児童・生徒用端末として Chromebook を整備し、G Suite を導入する。
- ・学習アプリを活用した子どもの理解度に応じた学習、不登校児童・生徒への支援、特別支援教育へ活用する。
- ・児童・生徒同士が協力して課題の発見や解決に挑む学習を推進する。
- ・家庭学習への活用、子どもの学習や心身の健康確認等へ活用する。

## 2 小中学校におけるICTの取り組みについて

### (1) 中学校における主な取組み【千寿桜堤中学校長】

#### ア 教員用タブレットの活用

##### ●デジタル教科書の活用

- ・国語：文章の構成機能を利用し、序論、本論、結論等の構成を確認している。
- ・数学：問題を投影し、アニメーション等で答えあわせに活用している。
- ・英語：音声機能による発音確認や生徒同士の振り返りに活用している。
- ・理科：実験や現象について動画で確認している。

##### ●カメラ機能の活用

- ・英語：英文等を撮影し、大型ディスプレイに投影している。
- ・体育：生徒同士で撮影しあい振り返りに活用している。
- ・家庭科：実技動画を撮影し全体指導で活用している。

##### ●その他

- ・第四中学校の社会科では、オリジナル教材を作成し教員間で共有するほか、オリジナル教材、デジタル教科書、紙教科書を使い分け学習を進めている。
- ・新田中学校の理科では、教員端末カメラ機能を活用し生徒が発表している。

#### イ 生徒用タブレットの活用

- ・ワークシート、グループ学習のツール、探求型学習のツールとしての活用

#### ウ Zoom モデル校の取組み

- ・家庭との連絡や健康観察、Eライブラリの活用（扇興本学園、千寿桜堤中学校）
- ・仮想休校によるオンライン授業の実践（千寿桜堤中学校）
- ・全校集会、生徒会選挙等の配信、不登校生徒への連絡、授業への参加
- ・小学校への中学校説明会 など

#### エ 課題

- ・全教員にタブレットがない（管理職、美術・音楽、特別支援教室、非常勤講師）
- ・分割型体育館から配信できない、教室位置による不具合などの通信環境
- ・休校や家庭学習、不登校対策のための活用 など

## (2) 小学校における主な取組み【栗原小学校長】

### ア 視覚的で分かりやすい授業の実現のために（教師）

- ・デジタル教科書の活用：英語で発音が聴ける、教科書に書き込みできる
- ・カメラ機能の活用：ノートをタブレットで撮影、書画カメラで投影する
- ・各種資料の掲示：彫刻刀の使い方や習字のポイントを動画で説明する
- ・日常ツールとしての活用：連絡事項の提示やタイマーで制限時間を提示する

### イ 児童の学びを広げるツールとして（児童）

- ・カメラで学びを記録：季節変化や体育授業で動画を撮影する
- ・プレゼンや新聞等の資料作成：パワーポイントやポスターでプレゼンする
- ・ネット情報を活用：社会科の課題解決、グーグルマップを活用する
- ・ソフト：Eライブラリを使った放課後学習、プログラミングソフトを活用する

### ウ 制限の壁を超えるために（Zoom）

- ・朝会や集会等の全校行事、オンライン見学、リモート講演会や研修会
- ・家庭と連携した放課後の活動、他校や中学校との交流 など

### エ モデル校（西新井小）の取組み

- ・子ども用タブレット端末の活用についての研究
- ・プログラミング教育についての研究
- ・ICTの活用に関する年間計画等についての研究

### オ ICT教育の更なる充実のために

- ・教員のICTスキルの向上：身につけたいICTスキルチェックリストの提示
- ・教員研修への位置づけ：区小研、小中連携等の柱として明示
- ・事例や疑問の解決方法を共有する：「情報サイト」一元化へ

## 3 G Suite for Education を活用した他自治体の先進事例について【Google 合同会社】

- ・Google のミッションは「世界中の情報を整理して、世界中の人々がアクセスできて使えるようにすること」であり、初めから完璧を求めない、不可能と決めつけない、ユーザーに焦点を絞るといような文化とイノベーションがある。
- ・Chromebook と Gsuite だけでイノベーションを起こそうとしているので、足立区の先生も子どもたちも Google の従業員と同じ環境でイノベーションに挑戦できる。
- ・Google の中でも Education と言われる部隊は、全ての人により多くの学びの機会をとういうものを目指している。経済的な格差も関係なく、生まれた地域も関係なく、世界中の全ての子どもたちに多くの学びや機会を提供するために取り組んでいる。
- ・Google の明確なプライバシーポリシーというのは、学習データやユーザーのデータはユーザーのものであり、Google が勝手に使ったり、触ったりするものでない。
- ・Google のツールは皆さんが使いやすいように設計していて、Google の従業員だけではなくて小学校1年生、あるいは海外でも保育園、幼稚園から使っていただける

ような使い勝手を目指している。

- ・安心して失敗を恐れない、トラブルシュートそのものも子どもたちに対しては学びになり、指導の大きな糧になるので、どんどん使っていただければイノベーションに近づくと考えている。
- ・GIGA スクール構想の目指すべきところに保護者向けのコミュニケーションもデジタル化する指針が出され、授業をだけを変えるなどというのではもったいない。この環境は Google の従業員も同じで、もっといろんなものを変えられるので、保護者とのコミュニケーションや業務の効率化もできると考えている。
- ・GIGA スクール構想により、政令市の台数ベースで約 70%が Chromebook になり、全国的な統計だと 8 月下旬時点で約 50%以上が Chromebook を選んでいる。Google のアカウントをお持ちの方は無償で使っていただけるので試していただきたい。
- ・Chromebook が世界中に普及している理由は、エラーが起きないように、常に最新のアップデートが自動化され、全自動の仕組みで全てのユーザーが使いやすくしている。セキュリティ設定も、数枚台での一気かけられるようになっている。
- ・Gsuite は、奈良県や広島県では小中高一貫して利用できるプラットフォームとして導入しており、宮城県や長野県においても県内のどの市町村立学校に進学しても、小学校 1 年生になったら Google のアカウントをもらえて、Google は子ども向けの Google ドライブを無制限で利用でき、高校 3 年生まで自分の学習データを持っていけるという仕組みが実現している。
- ・国レベルでやっているのが、マレーシアとフィリピンであり、子どもたちは英語も堪能で、10 年後、20 年後、日本の子どもと競争する世界がやってくる。
- ・無償研修については、ほぼ全ての教員が日常的に使えるところを目指すというのが、大きな足立区のチャレンジになる。
- ・みんなでみつける新しい学び方ということで、日本中全ての先生が挑戦している。これがいいという最適解はきっとなくて、一つ一つ違うので、足立区の皆様と一緒に新しい学び方を挑戦できればと思っている。

#### 4 教育委員からの主な意見

- ・体育や部活などに活用することで、動画を見せるとすごく理解しやすく学べる。
- ・ICT化を進める反面、小学校での書く作業、協働で何かを作り上げるなどアナログ的なことも学校現場で重要視する必要がある。
- ・モデル校の取組みや Zoom の活用による課題などを洗い出しているのので、教科別、場面別、学校別に、どう導入していくのかを教育委員会でも精査すべきである。
- ・対面指導、遠隔・オフライン教育が併用できるよう応援したい。